

「ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014」への助成支援に伴う横浜市長感謝状の受贈について

神奈川県遊技場協同組合(理事長:伊坂重憲)と神奈川県福祉事業協会(会長:伊坂重憲)は、平成26年8月1日、象の鼻テラスで開催された「ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014」オープニングセレモニーの会場において、開催助成金寄贈に伴い横浜市長感謝状を贈られました。

1. 実施日	平成26年8月1日(金)
2. 場所	象の鼻テラス(横浜市中区海岸通1丁目所在)
3. 贈呈者	横浜市長(柏崎誠副市長)
4. 受贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会
5. 受贈物品	「ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014」開催助成に伴う横浜市長感謝状

6. 概要 神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会は、8月1日(金)、象の鼻テラスで開催された「ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014」オープニングセレモニーの会場において、開催助成として300万円を寄贈したことに伴い、横浜市長柏崎誠副市長から神奈川県遊技場協同組合副理事長・神奈川県福祉事業協会副会長江川明裕が横浜市長感謝状を贈られました。私たち遊技業界は、昭和60年以来30年にわたり、横判市内をはじめとする福祉施設や各種団体等を支援するため、様々な社会貢献活動を継続してまいりました。その活動の一環として、ここ数年、障がいの有無にかかわることなく、文化芸術に接することで、新たな世界を広げてもらいたいとの強い思いから、特別支援学校に通う児童・生徒を「ふれあいコンサート」に招待するなどの活動に、継続的に取り組んでおります。今回、障がい者に光を当て、現代アートを通してその可能性を大きく広げていく創造的な取り組みである「ヨコハマ・トリエンナーレ」の開催主旨に賛同し、開催を支援させていただきました。このオープニングセレモニーの様子は、神奈川新聞、毎日新聞、タウンニュースでも紹介されました。



柏崎副市長と江川副会長



左から柏崎副市長、栗栖良依(ヨコハマ・パラトリエンナーレ2014総合ディレクター)、江川副会長、岡田勉(横浜ランデヴュープロジェクト実行委員会委員長)



会場内展示物



オープニングセレモニーのダンスパフォーマンス



会場内に神奈川県福祉事業協会社会貢献パネルが展示されました

神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会